

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

① 満期保有目的の債券：取得原価法によっている。

② その他の有価証券：移動平均法による原価法によっている。

(2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次の通りである。(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	13,636,000	-	13,636,000	0
定期預金	302,864,000	13,636,000	-	316,500,000
投資有価証券	593,500,000	200,000,000	200,000,000	593,500,000
小計	910,000,000	213,636,000	213,636,000	910,000,000
特定資産				
普通預金	6,020,607	4,289,272	6,020,607	4,289,272
定期預金	61,700,000	-	19,300,000	42,400,000
小計	67,720,607	4,289,272	25,320,607	46,689,272
合計	977,720,607	217,925,272	238,956,607	956,689,272

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対 する額)
基本財産				
定期預金	316,500,000	(10,000,000)	(306,500,000)	-
投資有価証券	593,500,000	(0)	(593,500,000)	-
小計	910,000,000	(10,000,000)	(900,000,000)	-
特定資産				
普通預金	4,289,272	(0)	(4,289,272)	-
定期預金	42,400,000	(2,400,000)	(40,000,000)	-
小計	46,689,272	(2,400,000)	(44,289,272)	-
合計	956,689,272	(12,400,000)	(944,289,272)	-

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価 (注)	評価損益
第48回ソフトバンクグループ株式会社無担保社債	100,000,000	95,120,000	△ 4,880,000
第15回三菱ファイナンスグループ無担保社債	100,000,000	98,270,000	△ 1,730,000
第3回大塚ホールディングス社債	100,000,000	100,210,000	210,000
第17回みずほファイナンスグループ無担保社債	100,000,000	94,970,000	△ 5,030,000
第19回みずほファイナンスグループ無担保社債	100,000,000	94,970,000	△ 5,030,000
合 計	500,000,000	483,540,000	△16,460,000

(注) 証券会社より入手した時価情報に基づいている。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているため附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

該当なし。